

ドラインに従い、公平、公正でかつ透明性の高い信頼される組織バンクの運営が行われることが望まれる。一方で各組織バンクにおいて施設の運営や開設についての具体的な基準については定められたものはなかった。平成12年12月26日、厚生省医薬安全局より医薬発第1314号「ヒト又は動物由来成分を原料として製造される医薬品等の品質及び安全性確保について」が示され、企業に限らず日本組織移植学会に参加するバンクにおいてもこの基準を遵守する必要があることと認識している。更に平成14年には、牛由来製品に対するBSEなど生物由来医薬・医療材料に対する規制が強化された。いわゆる改正薬事法である。この中では精度管理に努めることや標準的作業手順書(SOP)を作成することが記されている。

日本組織移植学会レジストリー委員会ではこの様な状況に鑑み、ガイドライン作成委員会で作成された「ヒト組織を利用する医療行為に関するガイドライン」を基に、各組織バンクにおける運営・開設に必要とされる「ヒト組織バンク開設における指針」を作成した。

この指針をもとに、組織バンクの質的管理に関する調査を年に1回行っている。また、各組織バンクにおける提供数、保存数、供給数について定期調査(3ヶ月毎)を行っている。

今回、日本組織移植学会レジストリー委員会の協力により、その調査結果を示す。調査対象施設は、心臓弁・血管バンク4施設、皮膚バンク3施設、骨バンク4施設、臍島バンク6施設である。そのうち、回答を得られた心臓弁・血管バンク3施設、皮膚バンク3施設、骨バンク3施設、臍島バンク5施設の結果を以下に示す。

1. 組織バンクの質的管理に関する年次調査

1. 組織バンクの基本理念

ヒトから採取した組織を移植に用いるにあたっては、その倫理的妥当性を担保するために以下の7つの基本理念が守られていることを確認する必要がある。

1	組織バンクの基本理念	心臓弁血管	皮膚	骨	臍島
1-1	ヒト組織の抽出のみならず移植に当たっても、ドナー側及びレシピエント側に対して、十分な情報を提供した上で了承を得ているか。	3	3	3	5
1-2	提供を受ける組織バンクにおいては、ドナーの尊厳を担保しつつ、ヒト組織の提供に係るドナー側の意思と社会に対する善意を尊重しているか。	3	3	3	5
1-3	ヒト組織の提供の説明に当たっては、提供に先だて行われる説明を聞くことを強制していないか。	3	3	3	5
1-4	意思確認の過程において不当な圧力がかかることのないよう、原則としてドナー本人(又は死後の提供である場合には遺族)の自由意思に基づき決定がなされているか。	3	3	3	5
1-5	ヒト組織の提供は社会に対して善意・無償で行われる公共性を持った行為である事を認識し頂いているか。	3	3	3	5
1-6	ヒト組織を提供することによって、ドナー側及びレシピエント側の氏名・年齢などの個人情報が流出しプライバシーが侵害されていないか。	3	3	3	5
1-7	ヒト組織を提供された組織(組織バンク)は移植に供する際、提供されたヒト組織を同意者の内容に沿って倫理的に正しく取り扱い、提供者の善意が生かされるよう最善を尽くしているか。	3	3	3	5

2. 組織バンクの組織または施設としての要件

組織バンクの施設を運営する場合、施設として以下のあり方を満たしている必要がある。

2	組織バンクの組織または施設としての要件	心臓弁血管	皮膚	骨	臍島
2-1	組織バンクの代表者が明確であり運営のすべてに責任を持っている体制であるか。	3	2	3	5
2-2	組織バンクの組織運営・実施要項が書面で作成されているか。	2	2	3	4
2-3	組織バンクの運営方針を決定する委員会、倫理委員会等が定期的に開催され、議事録が保管されているか。	2	2	3	5
2-4	組織バンクの会計が定しく管理されているか。	3	2	3	5
2-5	組織バンクを継続的に運営するための事業計画及び収支予算が作成されているか。	2	2	3	4
2-6	組織バンク事業の実施状況、財政状況等に関して書面で残されているか。	2	2	3	4
2-7	組織バンクの事務体制は明確であるか。	3	2	3	5
2-8	組織バンクでは、ヒト組織を移植施設に提供する場合に必要とされる経費(採集、保存、提供費用、人件費、交通費等)を請求する事が出来る。この際、組織バンクは非営利組織、または団体であることを十分認識し、たうえ、営利を目的とした請求をしていないか。	3	3	3	5
2-9	個人情報保護を促進するための体制の整備(情報管理責任者の設置、保存管理体制の文書化等)がなされているか。	3	3	3	5
2-10	ヒト組織の採取、保存、供給のすべてにわたり管理責任が明確にされているか。	3	3	3	5
2-11	組織バンクを行なうにあたって供給の公平性及び採取・保存の際、技術の適格性を中立的な立場から、厳密に定期的に行なっているか。	3	2	3	3

3. 説明と同意のあり方

移植を目的としたヒト組織の採取における説明と同意については、以下の条件を満たしている必要がある。

3	説明と同意	心臓弁血管	皮膚	骨	臍島
3-1	ドナー本人又はドナーの遺族(死後の提供の場合)から文書による承諾を得た上で組織の採取が行われているか。	3	3	3	5
3-2	客観的に判断してドナー本人が承諾能力を欠くと思われる場合には、代理の承諾を行なうことが可能である者(肉親など)に対して説明の上、書面による承諾を得ているか。	3	3	3	5
3-3	ヒト組織の提供に係る説明に当たっては、基本理念の1-1に示されている様にドナー側の承諾の任意性に配慮し、説明を聞くこと及び提供に係る承諾を強要するような行動がないか。	3	3	3	5
3-4	説明の途中でドナー側が説明の継続を拒んだ場合は、その意思を尊重しているか。	3	3	3	5
3-5	心臓弁の提供の場合には、遺族のおかれている状況にかんがみ、その心臓に配慮しつつ説明が行なわれているか。	3	3	3	5
3-6	説明に当たっては、同意の拒否及び撤回の権利があり、拒否又は撤回する事により当該者が不利な扱いを受けないことを明らかにしているか。	3	3	3	5
3-7	ドナー側に対する説明は、中立性を求める観点から、コーディネーターが説明を行っているか。	3	2	3	5
3-8	コーディネーターに該当するものが不在の場合は、組織採取に当たる医師が説明を行なうことができるが、この際は第三者(組織採取病院医師、看護師等)が必ず立ち合っているか。	3	2	3	5

4. ドナーの除外基準

特定の疾患又は状態にドナーが該当する場合には、ヒト組織を採取あるいは利用してはならない。また、ドナーに対する詳細な視診、触診を可能な限り行い、家族、遺族にも問診を行なう必要がある。あわせて診療録の確認を行なうべきである。また、問診、検査などの項目及びその方法について随時見直しが行なわれているか確認する必要がある。

4	ドナーの適応基準	心臓血管	皮膚	骨	脾臓
4-1	ドナーの適応基準の項目は必ず問診や診療録から確認を行っているか。	3	3	3	5
4-2	組織採取時に血清的・細菌学的検査が行われているか。	3	3	3	5
4-3	病理診断がある場合にはその結果を適否の参考としているか。	3	3	3	5
4-4	生前患者本人による組織提供の意思を確認しているか。あるいは、死後家族から組織提供のための同意書を確認しているか。	3	3	3	5
4-5	異状死体(外因死)の場合、警察官ないし監察医による検視の終了を確認しているか。	3	3	2	5
4-6	各組織に対して適切なスクリーニング検査を行なっているか。	3	3	3	5
4-7	各種スクリーニング検査法においてはその時点で最善とされる方法を用いているか。	3	3	3	5
4-8	「ヒト組織を利用する医療行為の安全性確保・保存・使用に関するガイドライン」に示されている不適応基準を確認しているか。	3	2	3	5

5. ヒト組織の採取

ヒト組織採取を行なう際、組織バンクでは操作や技術の妥当性を維持するための体制が整備、維持されている必要がある。

5	ヒト組織採取について	心臓血管	皮膚	骨	脾臓
5-1	ヒト組織の採取を行なう医師、採取に当たる医療機関においては、施設又は組織内の倫理委員会等においてヒト組織採取の手段・方法等について事前に承認されており、ヒト組織採取について協力を行なう体制が確立されているか。	3	2	3	5
5-2	ヒト組織採取の際には、医学的にも倫理的にも適切な技術が維持されており、かつ死体に対する礼意が保持されているか。	3	3	3	5
5-3	ヒト組織の採取に当たっては、そのクオリティを維持するべく器材の準備と技術の習得を行なっているか。	3	3	3	5
5-4	ヒト組織の採取に当たっては、提供施設に遠慮のいかない様な器材の準備を行なっているか。	3	2	3	5
5-5	ヒト組織の採取に当たっては、可能な限り無菌条件下で行い、採取の過程における微生物等の汚染を極力防いでいるか。	3	3	3	5
5-6	ヒト組織の採取にあつては、ドナー病院長又は責任者の了承を得ているか。	3	3	3	5
5-7	抽出記録の保管・管理について組織バンク又はネットワークが責任を持って保管・管理しているか。	3	3	3	5

6. 採取されたヒト組織の安全かつ有効な保存

採取されたヒト組織の処理、保存においては、汚染防止及び適切な微生物クリアランスに努めるとともに、クオリティを落とすことなく、迅速な保存処理を行なうこと。

6	採取されたヒト組織の安全かつ有効な保存	心臓血管	皮膚	骨	脾臓
6-1	採取組織の保存過程において、微生物の汚染が極力防がれているか。	3	3	3	5
6-2	保存過程で適切な微生物クリアランスを実施すると共に、処理の各段階で適切な試験、検査が行なわれているか。	3	3	3	5
6-3	組織の処理・保存を行なう作業環境については、一定の清浄度が保たれるように留意しているか。	3	3	3	5
6-4	定期的に作業環境の確認検査が行なわれているか。	3	3	3	5
6-5	ヒト組織/バンクにおける保存組織のクオリティを保つための責任体制が明確にされているか。	3	3	3	5
6-6	保存記録を保管・管理し、要請に応じていつでも提供出来るように努めているか。	3	3	3	4
6-7	採取されたヒト組織について、定められるものに関しては一定期間の保存年限を定め、移植に用いられないようにしているか。	3	3	3	4

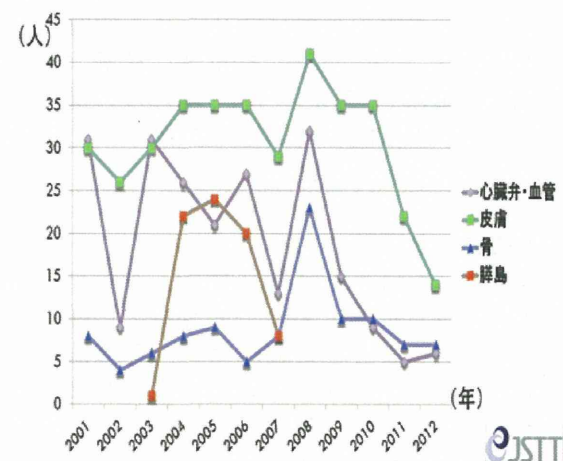
7. ヒト組織の移植施設への供給

ヒト組織の供給にあたり、クオリティコントロールに配慮がなされ、公平な供給がなされている必要がある。

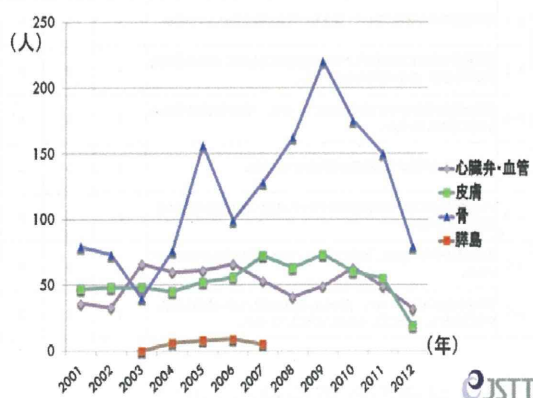
7	ヒト組織の移植施設への供給	心臓血管	皮膚	骨	脾臓
7-1	ヒト組織を医療機関に供給する際に公正な供給が行われているか。	3	1	3	3
7-2	レシピエントの選択において移植の機会を公平に保つよう配慮しているか。	3	1	3	4
7-3	組織バンクが組織を提供する際には、実施したドナー・スクリーニング検査の項目、検査方法及びその結果、処理方法等について併せて情報提供を行っているか。	3	1	3	4
7-4	組織バンクにおいては、プライバシーの保護に留意しつつ、提供に係る記録を保管・管理しているか。	3	1	3	4
7-5	必要に応じて提供した組織のサンプルの一部や血清を保存しておき再検査を行なう体制を整備しているか。	3	1	3	4
7-6	ドナー及び処理・保存過程及びレシピエントの記録について随時確認できる体制を整備しているか。	3	1	3	4
7-7	供給したヒト組織で、移植を受けた患者の結果、副作用などを常に注意し、その管理責任を有しているか。	3	1	3	4
7-8	ヒト組織を移植施設に用いた場合に、必要に応じて追跡調査を行なうことが可能となるような体制を整備しているか。	3	1	3	4

2. 各組織バンクにおける提供数、保存数、供給数について定期調査 (2001年～2012年9月)

●各組織における提供者数



●各組織における供給数



おわりに

日本組織移植学会では、ヒト組織の移植施設への供給の為に、移植コーディネーターの教育と認定、更にその移植コーディネーターによる管理体制の確立が行えた組織バンクを学会が認定している。移植コーディネーター並びに組織バンクはその認定を3年毎に更新し安全性を担保するための仕組みを構築している。また、今回の調査で示したレジストリーを実施し、認定バンクのみならず、細胞・組織を移植医療に供給された場合の登録を実施してトレーサビリティの確保を行っている。

また、再生医療の高まりに対して、日本組織移植学会では「適正利用審査委員会」と「倫理委員会」が企業利用の際に審査する体制を整えている。国策として再生医療を発展させる上からも、その原料となる細胞・組織の供給は公正、且つ安全に行われなければならないが、提供者の匿名性の担保と、トレーサビリティの確保の両立のためには、組織バンク等の公的に認められた組織が必要となる。企業が直接、提供者に接触する事は医療通念上、考えにくく、倫理性の面からもこれらの機関が透明性を担保しつつ提供を行う事が求められる。

④残された課題

当初、本研究班は3年間で、全ての臓器と組織の一元的なWebでの登録・追跡制度を確立することを目論んだが、各臓器と組織の登録・追跡システムの作成と旧来の登録データの移行に時間を要し、全ての臓器と組織の登録・追跡システムを統合するこ

とは困難であった。この作業の問題点、今後と課題を明らかにし、今後の統合に向けた作業に備えるにとどまった。

また、本研究で作成させた登録・追跡システムを置くサーバーについては、本研究班の研究経費からサーバーに関する経費を捻出し、サーバー本体は一般企業（Medical Data Base サービス会社）に置いて維持、管理した。また、組織については、別の一般企業のサーバーに置いた。本研究班は平成25年度で終了することになり、登録システムのメンテナンスとサーバーの維持を継続できないことになる。しかし、臓器、組織移植の登録、追跡が終了することは許されることでない。現段階では、平成26年度以降、おそらく日本移植学会がサーバーを維持することになると思われるが、全ての臓器と組織移植症例の一元的な登録と追跡をおこなうサーバーを、学術集団である日本移植学会が維持するべきものとは思っていない。この点について具体的な検討に入ったものの、結論は得られず、問題点を明らかにしたにとどまり、本研究班が終了するにあたり、大きな課題として残した。

D. 考察

臓器と組織の移植医療はドナーがあって成り立つ医療で、他の医療と大きく異なる。さらに、臓器移植では大部分が健康生体からの提供であるが、亡くなったドナーからの臓器と組織の移植は第三者からの提供となる。これまで、臓器移植では各臓器の研究会で登録・追跡調査されてきた。組織移植では、各アイバンク・スキンバンクが個別に登録してきたのみで、全国的な登録、追跡調査はされてこなかった。一方で、日本臓器移植ネットワークでは、亡くなったドナーから臓器提供され移植されたレシピエントについては完全に登録し、追跡調査してきた。しかし、生体ドナーについては何も行われていなかった。第三者を含んだドナーから提供された臓器や組織で成り立つ移植医療であるからこそ、完全なトレーサビリティが求められ、レシピエントのみならずドナーの完全な登録と追跡システムが必要と考えられる。

2008年春のイスタンブールサミット宣言で、生体ドナーについては、ドナー保護の観

点から生涯にわたって追跡しなければならぬとされたが、世界的にこれを完全に遂行出来ている国はない。我が国が世界に先駆けて、レシピエントのみならず、全ドナーの生涯にわたった追跡調査を行うことは、世界的に注目されることであり、世界に発信される大きな成果と期待される。全臓器・組織移植の一元的 Web 登録・追跡システムを構築することにより、安全で信頼性の高いシステムを維持していくことができる。これらを通して、ドナー及びレシピエントの安全性確保と QOL 向上をもって、臓器・組織移植医療の成績向上並びに発展、普及を期待することができる。

その第一歩が、本研究として始まり、最終年度に、世界に先駆けた全臓器、組織の Web 登録、追跡システムが完成した。今後の一元的なシステムの構築、それを支える公的なサーバーの確立と維持が望まれる。

E. 結論

腎移植登録システム JARTRE-W を完成させ、これと肝移植登録システム LITRE-J について、過去の登録、追跡データの移行を完了し、追跡データの Web 入力を可能にした。他の臓器移植登録システムは、Web 登録システムを完成させ、本稼働した。組織移植については、全組織移植の登録システムが完成し、限られた施設で試行的に稼働させ、システムに問題がないことが確認された。全臓器と組織移植の登録・追跡システムを一元的に統合することは困難だった。全臓器と組織移植症例の一元的な登録と追跡をおこなう恒久的で公的なサーバーの設置については未解決で、問題点、課題を明らかにして終了した。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1. 腎移植臨床登録集計報告 (2011) -1 2010 年実施症例の集計報告 日本臨床腎移植学会、日本移植学会 移植 46 巻 4・5 号 313-318 2011
2. 腎移植臨床登録集計報告 (2011) -2 2010 年実施症例の集計報告 (2) 日本臨床腎移

- 植学会 移植 46 巻 6 号 506-523 2011
3. 肝移植症例登録報告 日本肝移植研究会 移植 46 巻 6 号 524-536 2011
4. Evolution of Registry and Tracking System for Organ Transplantation in Japan. Kenji Yuzawa, Shiro Takahara, Takeshi Kanmochi, Kota Takahashi, Hiroshi Umeshita, Morito Monden, Satoshi Teraoka. (in press) Transplantation Proceedings, 2012
5. 日本移植学会 2011 年症例登録 統計報告 (扉)湯沢 賢治 移植 47 巻 6 号 393-394 2012
6. わが国における臓器移植のための臓器摘出の現状と実績(2012) 日本移植学会登録委員会 日本移植学会登録委員会 湯沢 賢治 移植 47 巻 6 号 395-399 2012
7. 腎移植臨床登録集計報告 (2012) 2011 年実施症例の集計報告 日本移植学会・日本臨床腎移植学会 湯沢 賢治、高原 史郎、八木澤 隆、三重野 牧子、田邊 一成 移植 47 巻 6 号 400-415 2012
8. 肝移植症例登録報告 日本肝移植研究会 猪股 裕紀洋、梅下 浩司、上本 伸二 移植 47 巻 6 号 416-428 2012
9. Evolution of Registry and Tracking System for Organ Transplantation in Japan S.Takahara,T.Kanmochi, K.Takahashi,H.Umeshita,M.Monden,S.Teraoka Transplantation Proceedings 44 828-831 2012
10. わが国における臓器移植のための臓器摘出の現状と実績 湯沢賢治 移植 47(6) 395-399 2012
11. 腎移植臨床登録集計報告(2012)2011 年実施症例の集計報告 湯沢賢治、高原史郎、八木澤隆、三重野牧子、田邊一成 移植 47(6) 400-415 2012
12. わが国の End stage kidney disease (ESKD)の現況 山縣邦弘、八木澤隆、中井滋、中山昌明、今井圓裕、服部元史、五十嵐徹、石村栄治、井関邦敏、伊丹儀友、乳原善文、笠井健司、木全直樹、劍持敬、佐古まゆみ、杉山斉、鈴木洋通、田邊一成、椿原美治、西慎一、樋之津史郎、平松信、古藺勉、望月隆弘、湯沢賢治、横山仁、秋葉隆、高原史郎、吉村了勇、本田雅敬、松尾清一、秋澤忠男 移植 48 (4.5) 225-235 2012

13. わが国の End stage kidney disease (ESKD)の現況 山縣邦弘、八木澤隆、中井滋、中山昌明、今井圓裕、服部元史、五十嵐徹、石村栄治、井関邦敏、伊丹儀友、乳原善文、笠井健司、木全直樹、劍持敬、佐古まゆみ、杉山斉、鈴木洋通、田邊一成、椿原美治、西慎一、樋之津史郎、平松信、古菌勉、望月隆弘、湯沢賢治、横山仁、秋葉隆、高原史郎、吉村了勇、本田雅敬、松尾清一、秋澤忠男 日本小児腎臓病学会雑誌 25 178-189 2012
 14. わが国の End stage kidney disease (ESKD) の現況 山縣邦弘、八木澤隆、中井滋、中山昌明、今井圓裕、服部元史、五十嵐徹、石村栄治、井関邦敏、伊丹儀友、乳原善文、笠井健司、木全直樹、劍持敬、佐古まゆみ、杉山斉、鈴木洋通、田邊一成、椿原美治、西慎一、樋之津史郎、平松信、古菌勉、望月隆弘、湯沢賢治、横山仁、秋葉隆、高原史郎、吉村了勇、本田雅敬、松尾清一、秋澤忠男 日本透析医学会誌 45 1067-1076 2012
 15. 日本移植学会 2012 年症例登録統計報告 湯沢賢治 移植 96 339 2013
 16. わが国における臓器移植のための臓器摘出の現状と実績(2013) 湯沢賢治 移植 48(6) 341-345 2013
 17. 腎移植臨床登録集計報告(2013)2012 年実施症例の集計報告 湯沢賢治、高原史郎、八木澤隆、三重野牧子、田邊一成 移植 48(6) 346-361 2013
 18. 肝移植症例登録報告(第一報) 肝移植症例登録報告(第一報) 移植 48(6) 362-368 2013
 19. 本邦心臓移植登録報告 (2013) 日本心臓移植研究会 移植 48(6) 369-373 2013
 20. 本邦肺移植症例登録報告—2013— 日本肺および心肺移植研究会 移植 48(6) 374-377 2013
 21. 本邦膵移植症例登録報告 (2013) 日本膵・膵島移植研究会膵臓移植班 移植 48(6) 378-383 2013
 22. 膵島移植症例登録報告 (2013) 日本膵・膵島移植研究会膵島移植班 移植 48(6) 384-389 2013
 23. 本邦小腸移植症例登録報告 日本小腸移植研究会 移植 48(6) 390-394 2013
2. 学会発表
 1. 八木澤隆：日本臨床腎移植学会教育セミナー「慢性腎不全と腎移植統計」、2011年7月10日、東京
 2. 八木澤隆：透析医療従事者研修講演、「腎移植」、2011年7月16日、大宮
 3. 八木澤隆：日本移植学会教育セミナー「各臓器移植の現状：腎臓」、第47回日本移植学会、2011年10月6日、仙台
 4. Kenji Yuzawa, Shiro Takahara, Takeshi Kenmochi, Kota Takahashi, Hiroshi Umeshita, Morito Monden, Satoshi Teraoka, Evolution of Registry and Tracking System for Organ Transplantation in Japan; 12th Congress of the Asian Society of Transplantation 2011, Seoul, Korea
 5. 新たな腎移植新登録システム インターネット登録へ 日本臨床腎移植学会 登録委員会 日本移植学会 登録委員会 2012年2月2日 第45回日本臨床腎移植学会、軽井沢
 6. 腎移植登録からみた我が国の NODAT の現状 第35回 大阪腎移植病理組織研究会 2011年12月16日 兵庫県西宮市
 7. 劍持 敬. 移植学会調査からみた CKD ステージ 5T の実態 (シンポジウム). 第56回日本透析医学会. 2011.6.17 (横浜市)
 8. 劍持 敬. 腎移植レジストリーからみた我が国の腎移植の現状 (特別講演). 第23回東海北陸腎不全治療研究会. 2012.2.25 (名古屋市)
 9. 八木澤隆 臨床腎移植統計報告(特別発表)、第45回日本臨床腎移植学会、2012年2月3日、軽井沢
 10. 八木澤隆 わが国における先行的腎移植の現況と展望、第45回日本臨床腎移植学会、腎移植連絡協議会、2012年2月1日、軽井沢
 11. Mieno M, Yagisawa T, Yuzawa K, Takahara S. Multistate time-to-event modelling for kidney transplantation registry data. European congress of epidemiology 2012, Sep 5-8, Porto, Portugal.
 12. Yuzawa K, Umeshita K, Mieno M, Takahara S. Online registry and tracking system for kidney and liver transplantation in Japan. 24th international congress of the transplantation society. July 15-19,

2012, Berlin, Germany.

- 1 3. Mieno M, Yagisawa T, Yuzawa K, Takahara S. Graphical approach in the risk factor analysis for the death with functioning graft in kidney transplantation from Japanese registry data. 12th Congress of the International Society for Organ Donation and Procurement, Nov 21-24 2013, Sydney, Australia.
- 1 4. 八木澤隆：臨床腎移植統計報告(特別発表)、第46回日本臨床腎移植学会、2013年2月1日、舞浜
- 1 5. 八木澤隆：臨床腎移植統計報告(特別発表)、第47回日本臨床腎移植学会、2014年3月12日、奈良

H. 知的財産権の出願・登録状況

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許所得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

業績

高原 史郎

Takahara S, Takahashi K, Akiyama T, Uchida K, Tanabe K, Amada N, Toma H Randomized comparative trial of mizoribine versus mycophenolate mofetil in combination with tacrolimus for living donor renal transplantation. 『Clinical and Experimental Nephrology』 2013.2 Epub ahead of print

Tsuda H, Yamahara K, Otani K, Okumi M, Yazawa K, Kaimori JY, Taguchi A, Kangawa K, Ikeda T, Takahara S, Isaka Y Transplantation of allogenic fetal membrane-derived mesenchymal stem cells protect against ischemia-reperfusion-induced acute kidney injury. 『Cell Transplantation』 2013.4 Epub ahead of print

Kaimori JY, Iwai S, Hatanaka M, Teratani T, Obi Y, Tsuda H, Isaka Y, Yokawa T, Kuroda K, Ichimaru N, Okumi M, Yazawa K, Rakugi H, Nonomura N, Takahara S, Kobayashi E, Non-invasive magnetic resonance imaging in rats for prediction of the fate of grafted kidneys from cardiac death donors. 『PLoS One』 2013.5 8(5) Free PMC Article

Danovitch GM, Chapman J, Capron AM, Levin A, Abbud-Filho M, Al Mousawi M, Bennett W, Budiani-Saberi D, Couser W, Dittmer I, Jha V, Lavee J, Martin D, Masri M, Naicker S, Takahara S, Tibell A, Shaheen F, Anantharaman V, Delmonico FL, Organ trafficking and transplant tourism: the role of global professional ethical standards-the 2008 Declaration of Istanbul 『Transplantation』 2013.6 95(11) p1306-12

K.Yuzawa, S.Takahara, T.Kenmochi, K.Takahashio, K.Umeshita, M.Monden S.Teraoka. Evolution of registry and tracking system for organ transplantation in Japan. Transplant Proc 44: 828-831, 2012.

Obi Y, Hamano T, Ichimaru N, Tomida K, Matsui I, Fujii N, Okumi M, Kaimori JY, Yazawa K, Kokado Y, Nonomura N,

Rakugi H, Takahara S, Isaka Y, Tsubakihara Y. Vitamin D Deficiency Predicts Decline in Kidney Allograft Function: A Prospective Cohort Study 『The Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism』 2013.11 Epub ahead of print

山縣邦弘, 八木澤隆, 中井滋, 中山昌明, 今井圓裕, 服部元史, 五十嵐徹, 石村栄治, 井関邦敏, 伊丹儀友, 乳原善文, 笠井健司, 木全直樹, 剣持敬, 佐古まゆみ, 杉山斉, 鈴木洋通, 田邊一成, 椿原美治, 西慎一, 樋之津史郎, 平松信, 古菌勉, 望月隆弘, 湯沢賢治, 横山仁, 秋葉隆, 高原史郎, 吉村了勇, 本田雅敬, 松尾清一, 秋澤忠男, 「わが国の end stage kidney disease(ESKD)の現況」 日本透析医学会腎不全総合対策委員会 『移植』 2013.9 48 巻 4-5 p225-235

八木澤隆、三重野牧子、湯沢賢治、高原史郎、田邊一成、吉村了勇「腎移植臨床統計からみた腎移植の動向と成績」 『日本臨床腎移植学会雑誌』 2013.12 1 巻 2 号 p159-165

湯沢賢治, 高原史郎, 八木澤隆, 三重野牧子, 田邊一成, 日本移植学会・日本臨床腎移植学会「腎移植臨床登録集計報告(2013) 2012 年実施症例の集計報告」 『移植』 2013.12 48 巻 6 号 p346-361

小角幸人花房徹, 高原史郎, 野々村祝夫, 東治人, 仲谷達也, 山口誓司, 江左篤信, 金卓, 植村天受, 石井徳味, 西岡伯, 松田公志, 阪口勝彦, 客野宮治, 熊田憲彦, 長濱寛二, 藤本宜正「大阪府で行われた腎移植に関する実態調査」 『大阪透析研究会会誌』 2013.9 31 巻 2 号 p193-204

K.Yuzawa, S.Takahara, T.Kenmochi, K.Takahashio, K.Umeshita, M.Monden S.Teraoka. Evolution of registry and tracking system for organ transplantation in Japan. Transplant Proc 44: 828-831, 2012.

腎移植臨床登録集計報告(2012) 2011 年実施症例の集計報告 日本移植学会・日本臨床腎移植学会 湯沢 賢治、高原 史郎、八木澤 隆、三重野 牧子、田邊 一成 移

Horio M, Yasuda Y, Kaimori J, Ichimaru N, Isaka Y, Takahara S, Nishi S, Uchida K, Takeda A, Hattori R, Kitada H, Tsuruya K, Imai E, Takahashi K, Watanabe T, Matsuo S. Performance of the Japanese GFR equation in potential kidney donors [Clinical and experimental nephrology] 2012.6 16(3) p415-420

Tomida K, Hamano T, Ichimaru N, Fujii N, Matsui I, Nonomura N, Tsubakihara Y, Rakugi H, Takahara S, Isaka Y. Dialysis vintage and parathyroid hormone level, not fibroblast growth factor-23, determines chronic-phase phosphate wasting after renal transplantation. [Bone] 2012.10 51(4) p729-736

Obi Y, Ichimaru N, Hamano T, Tomida K, Matsui I, Fujii N, Okumi M, Kaimori JY, Yazawa K, Kokado Y, Tsubakihara Y, Nonomura N, Rakugi H, Takahara S, Isaka Y. Orally Active Vitamin D for Potential Chemoprevention of Post-transplant Malignancy [Cancer Prevention Research] 2012.10 5(10) p1229-35

Takabatake Y, Li XK, Mizui M, Miyasato K, Matsui I, Kawada N, Imai E, Nig TH, Takahara S, Wada T, Furuichi K, Rakugi H, Isaka Y. A superagonistic monoclonal antibody for CD28 ameliorates crescentic glomerulonephritis in Wistar-Kyoto rats. *Mol Med* 2011; 17:686-96.

Xie L, Li X-K, Takahara S. Curcumin has bright prospects for the treatment of multiple sclerosis. *Int Immunopharmacology*. 2011;11:323-330

Miyasato K, Takabatake Y, Kaimori J, Kimura T, Kitamura H, Kawachi H, Li XK, Hunig T, Takahara S, Rakugi H, Isaka Y. CD28 superagonist-induced regulatory T cell expansion ameliorates

mesangioproliferative glomerulonephritis in rats. *Clin Exp Nephrol* 2011; 15: 50-57.

Okumi M, Kawada N, Ichimaru N, Kitamura H, Abe T, Imamura R, Kojima Y, Kokado Y, Isaka Y, Rakugi H, Nonomura N, Moriyama T, Takahara S. Safety and efficacy of administering the maximal dose of candesartan in renal transplant recipients. *Clinical and experimental nephrology* 2011.8

日本臨床腎移植学会、日本移植学会、日本臨床腎移植学会登録委員会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子。腎移植臨床登録集計報告(2011)-1 2010年実施症例の集計報告。移植。2011; 46(4・5): 313-317.

日本臨床腎移植学会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子腎移植臨床登録集計報告(2011)-2 2010年実施症例の集計報告(2) 移植46巻6号 506-523 2011

高原史郎、小林英司、篠崎尚史。【臓器移植の新時代】新しい社会基盤の整備に向けてイスタンブール宣言後のWHO・国際移植学会の取組み。医学のあゆみ 237巻5号 368-372 2011

小角幸人、高原史郎、野々村祝夫、勝岡洋治、東治人、仲谷達也、山口誓司、江左篤信、金卓、植村天受、石井徳味、西岡伯、松田公志、阪口勝彦、客野宮治、原恒男、熊田憲彦、長濱寛二大阪府で行われた腎移植に関する実態調査。大阪透析研究会会誌。29巻2号 203-214.2011

学会発表

Mieno M, Yagisawa T, Yuzawa K, Takahara S. Graphical approach in the risk factor analysis for the death with functioning graft in kidney transplantation from Japanese registry data. 12th Congress of the International Society for Organ Donation and Procurement, Nov 21-24 2013, Sydney, Australia.

Yuzawa K, Umeshita K, Mieno M, Takahara S. Online registry and tracking

system for kidney and liver transplantation in Japan. 24th international congress of the transplantation society. July 15-19, 2012, Berlin, Germany.

Mieno M, Yagisawa T, Yuzawa K, Takahara S. Multistate time-to-event modelling for kidney transplantation registry data. European congress of epidemiology 2012, Sep 5-8, Porto, Portugal.

湯沢 賢治

湯沢賢治 日本移植学会 2012年症例登録統計報告 移植 96 339 2013

湯沢賢治、わが国における臓器移植のための臓器摘出の現状と実績(2013) 移植 48(6) 341-345 2013

湯沢賢治、高原史郎、八木澤隆、三重野牧子、田邊一成、腎移植臨床登録集計報告(2013)2012年実施症例の集計報移植 48(6) 346-361 2013

八木澤隆、三重野牧子、湯沢賢治、高原史郎、田邊一成、吉村了勇「腎移植臨床統計からみた腎移植の動向と成績」『日本臨床腎移植学会雑誌』 2013.12 1巻2号 p159-165

山縣邦弘、八木澤隆、中井滋、中山昌明、今井圓裕、服部元史、五十嵐徹、石村栄治、井関邦敏、伊丹儀友、乳原善文、笠井健司、木全直樹、劍持敬、佐古まゆみ、杉山斉、鈴木洋通、田邊一成、椿原美治、西慎一、樋之津史郎、平松信、古菌勉、望月隆弘、湯沢賢治、横山仁、秋葉隆、高原史郎、吉村了勇、本田雅敬、松尾清一、秋澤忠男、「わが国の end stage kidney disease(ESKD)の現況」日本透析医学会腎不全総合対策委員会『移植』 2013.9 48巻4-5 p225-235

K.Yuzawa, S.Takahara, T.kanmochi, K.Takahashio, H.Umeshita, M.Monden, S.Teraoka. Evolution of Registry and Tracking System for Organ Transplantation Proceedings. 2012. 44. 4. 828-831

湯沢賢治、高原史郎、八木澤隆、三重野牧子、田邊一成. 日本移植学会 2011年症例登録統計報告. 移植. 2012. 12. 47. 6

日本移植学会登録委員会、湯沢賢治. 我が国における臓器移植のための臓器摘出の現状と実績(2012) 移植. 2012. 47. 6. 395-399

日本移植学会 2011年症例登録統計報告(扉)湯沢賢治 移植 47巻6号 393-394 2012

日本臨床腎移植学会、日本移植学会、日本臨床腎移植学会登録委員会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子. 腎移植臨床登録集計報告(2011)-1 2010年実施症例の集計報告. 移植. 2011; 46(4・5): 313-317.

日本臨床腎移植学会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子腎移植臨床登録集計報告(2011)-2 2010年実施症例の集計報告(2) 移植 46巻6号 506-523 2011

湯沢賢治. 3,腎移植システム JARTREについて、4,JARTREの2009年の運用実績、5,JARTREの更新、6,残された課題、8,日本の進むべき方向. 日本の臓器移植症例登録システム. 2011; 22-25,30-31,33-34

Evolution of Registry and Tracking System for Organ Transplantation in Japan. Kenji Yuzawa, Shiro Takahara, Takeshi Kanmochi, Kota Takahashi, Hiroshi Umeshita, Morito Monden, Satoshi Teraoka. (in press) Transplantation Proceedings, 2012

学会発表

Mieno M, Yagisawa T, Yuzawa K, Takahara S. Graphical approach in the risk factor analysis for the death with functioning graft in kidney transplantation from Japanese registry data. 12th Congress of the International Society for Organ Donation and Procurement, Nov 21-24 2013, Sydney, Australia.

K.Yuzawa,H.Umeshita, M.Mieno, S.Takahara. Online Registry and Tracking System for Kidney and Liver Transplantation in Japan. 24TH

INTERNATIONAL CONGRESS OF THE TRANSPLANTATION SOCIETY. Berlin,GERMANY. 2012. 7

湯沢賢治. 臓器移植医療における症例登録—その重要性と今後の展望—. 第 11 回 JATCO 総合研修会. 東京都文京区、東京都大田区. 2012 年 11 月

湯沢賢治. 我が国の腎移植の登録システム. 第 46 回日本臨床腎移植学会. 千葉県浦安市. 2013 年 1 月

Kenji Yuzawa, Shiro Takahara, Takeshi Kenmochi, Kota Takahashi, Hiroshi Umeshita, Morito Monden, Satoshi Teraoka ,Evolution of Registry and Tracking System for Organ Transplantation in Japan; 12thCongress of the Asian Society of Transplantation 2011,Seoul, Korea

新たな腎移植新登録システムインターネット登録へ日本臨床腎移植学会 登録委員会 日本移植学会 登録委員会 2012 年 2 月 2 日 第 45 回日本臨床腎移植学会、軽井沢

劍持 敬

Ito Y1, Kenmochi T, Egawa T, Hayashi S, Nagashima A, Kitagawa Y. Clinicopathological features of early distal cholangiocarcinoma. Hepatogastroenterology.2013Jun;60(124):673-7.

劍持 敬 臓器移植法改正で日本の移植医療は変わったか？腎と透析 74 (2) 129-130 : 2013

Suzuki A, Kenmochi T, Maruyama M, Akutsu N, Iwashita C, Otsuki K, Ito T, Matsumoto I, Asano T Changes in quality of life in deceased versus living-donor kidney transplantations Transplant Proc. 2012.1 44(1):287-9

Otsuki K, Kenmochi T, Maruyama M, Akutsu N, Iwashita C, Ito T, Matsumoto I, Asano T A case of Ramsay Hunt syndrome in living-kidney transplant recipient Transplant Proc. 2012.1 44(1):307-8.

Ito Y, Kenmochi T, Irino T, Egawa T, Hayashi S, Nagashima A, Kitagawa Y Strategies to Prevent Pancreatic Fistula after Pancreaticoduodenectomy Hepatogastroenterology. 2012.4 25;59(120).

Ito Y, Kenmochi T, Irino T, Egawa T, Hayashi S, Nagashima A, Hiroe N, Kitano M, Kitagawa Y. Endoscopic management of pancreatic duct injury by endoscopic stent placement: a case report and literature review World J Emerg Surg. 2012.7 12;7(1):21

劍持 敬 (日本移植学会登録委員会) . わが国における臓器移植のための臓器摘出の現状と実績 (2011) . 移植 46(6):501-505, 2011

劍持 敬. 日本移植学会 2010 年症例登録統計報告. 移植 46 (6) :500, 2011

学会発表

劍持 敬. 移植学会調査からみた CKD ステージ 5T の実態 (シンポジウム) . 第 56 回日本透析医学会. 2011.6.17 (横浜市)

劍持 敬. 腎移植レジストリーからみた我が国の腎移植の現状 (特別講演) . 第 23 回東海北陸腎不全治療研究会. 2012.2.25 (名古屋市)

篠崎 尚史

篠崎尚史 「角膜 (保存・シェアリング) 」移植のための臓器摘出と保存 IV.1-2 P254-256

篠崎尚史 「アイバンク」専門医のための眼科診療クオリファイ 12 角膜内皮障害 to the Rescue P 280-283

Groth S, Noël L, Matesanz R, Dominguez-Gil B, Chapman J, Delmonico F, Jacquelinet C, Levin A, Vivekanand J, Ahn C, Alejandro Torres M, Núñez JR, Delmonico F, Dominguez-Gil B, Shaheen F, Gill J, Rahmel A, Shinozaki N, Capron A, Manara A, O'Callaghan G, Chapman J, Obrador G, Singh H, Biller Andorno N, Garcia-Gallont R, Moazam F, Noël L, Rudge C, Vathsala A, Dominguez-Gil B, Manyalich M, Martin D, White S, Abela

CJ, Aguiar MJ, Akinsola A, Al-Mousawi M, Saldías IÁ, Rodriguez MA, Ashkenazi T, Ashuntantang G, Avsec-Letonja D, Salah Ben Ammar M, Brezovský P, Bušić M, Carmona M, Coene L, Coll E, Constable F, Danninger F, Danovitch G, De Frutos Sanz Á, Del Río FJ, Deulofeu R, Dhitavat V, Di Fabio JL, Diouf B, Doyle P, Duro Garcia V, Dzhaleva T, Ehtuish E, Ezekiel L, Gautier S, Ghadiok G, Gompou A, Groth C, Grunnet N, Gupta S, Hafner V, Hilal Abdou M, Jakobsen A, Kirste G, Küüsvek A, Kwek TK, Kyriakides G, Soon KK, Lausevic M, Leichtman A, Magnússon S, Mahillo B, Mahipala PG, Maio R, Mangan TP, Marazuela R, McCartney TB, Mehta G, Metwalli N, Minina M, Morales Billini F, Moreno E, Mühlbacher F, Muller E, Nanni Costa A, Nathan HM, Ndhokumbayo JB, Niño Murcia A, O'Callaghan G, O'Connor K, Odongo I, O'Neill F, Oosterlee A, Ott MO, Øyen O, Pavlou A, Perner F, Perojo L, Procaccio F, Reis Nothen R, Reznik O, Hasan Rizvi SA, Luis Rojas J, Rosendale J, Rowinski W, Rozental R, Saeed B, Salmela K, Sánchez Ibáñez J, Saxena M, Schlitt HJ, Sharma V, Srivastava RK, Susalit E, Szabó Z, Takahara S, Tibell A, Tsoulfas G, Valdivieso López A, Vandewoude K, Vera E, Wahyuningsih A, Wang H, West LJ, Wikler D, Yongfeng L, Young K, Zota VG, Zafalon G, Shen Z. Third WHO Global Consultation on Organ Donation and Transplantation: striving to achieve self-sufficiency, March 23-25, 2010, Madrid, Spain Transplantation, 2011 Jun 15, 91 Suppl 11: S27-28

Shinozaki N. 51st Annual Meeting of Eye Bank Association of America Eye Bank Association of America, Tucson, America, 2012/6/19-28

篠崎尚史 「クオリティーマネジメントセミナーの目的と今後」、第25回日本脳死・脳蘇生学会総会・学術集会、宮崎県、2012/5/16

篠崎尚史 「臓器提供時のマネジメントについて考える」、第16回日本看護管理学会年次大会パネルディスカッション6、札幌市、2012/8/24

篠崎尚史 「厚労科研における臓器提供社会基盤整備事業の概要」、第48回日本移植学会拡大臓器推進委員会、名古屋市、2012/9/20

篠崎尚史 「イスタンブール宣言以降の組織の取り扱い」 HAB NEWS LETTER Vol.17 No.2,2011

篠崎尚史 「臓器移植の社会的基盤構築」医学のあゆみ 237(5):363-367、2011

篠崎尚史 「ドナーアクションプログラム・良質で確実な臓器提供をめざした院内体制の構築」医学のあゆみ、237(5):381-388、2011

篠崎尚史 「移植コーディネーターのコミュニケーション教育の検討」移植 46(suppl):263-263、2011

学会発表

篠崎尚史 「特別企画2 これからの10年にもとめられるもの」、日本組織移植学会総会、8/6/2011

高橋 公太

Kazuhiro Kobayashi, Toshihiro Saito, Yasuo Kitamura, Tomohiro Nobushita, Takashi Kawasaki, Noboru Hara, Kota Takahashi Oncological outcomes in patients with stage 1 testicular seminoma and nonseminoma: pathological risk factors for relapse and feasibility of surveillance after orchiectomy, DIAGNOSTIC PATHOLOGY 8:57 2013

Kei Arai, Tutomu Nishiyama, Noboru Hara, Takashi Kasahara, Kazuhide Saito, Kota Takahashi, Retroperitoneoscopic donor nephrectomy with a gel-sealed hand-assist access device BMC Urology 13:7 2013

Kazuhiro Kobayashi, Toshihiro Saito, Yasuo Kitamura, Tomohiro Nobushita, Takashi Kawasaki, Noboru Hara, Kota Takahashi The RENEL Nephrometry Score and the PADUA Classification for the Prediction of Perioperative Outcomes in Patients Receiving

Nephron-Sparing Surgery: Feasible Tools to Predict Intraoperative Conversion to Nephrectomy
Urologia Internationalis ;91 p261~268
2013

Kazuhiro Kobayashi, Toshihiro Saito, Yasuo Kitamura, Tomohiro Nobushita, Takashi Kawasaki, Noboru Hara, Kota Takahashi, Effect of the time from the presentation of symptoms to medical consultation on primary tumor size and survival in patients with testicular cancer: Shift in the last 2 decades, Urologic Oncology: seminars and Original Investigations 1-6 2013

K. Saito, S. Takahara, Y. Nakagawa, T. Yagisawa, M. Naka Mieno, K. Takahashi Obstacles of Non-heart- beating Doner Kidney Transplantation in Japan to Date and Future Perspectives, Transplantation Proceedings, 45, 2866-2870 2013

Kentaro Sugiyama, Kazuya Isogai, Satoshi Horisawa, Akira Toyama, Hiroshi Satoh, Kazuhide Saito, Yuki Nakagawa, Masayuki Tasaki, Kota Takahashi, Yoshihiko Hirano Comparative Study of the Cellular Pharmacodynamics of Tacrolimus in Renal Transplant Recipients Treated With and Without Basiliximab Cell Transplantation Vol.21 p565~570 2012.

高橋公太 ABO 血液型不適合生体腎移植の現状 新腎不全・透析患者指導ガイド 日本医事新報社 p149~150 2012

中川由紀・池田正博・田崎正行・齋藤和英・高橋公太
透析歴 30 年以上の腎移植
第 45 回日本臨床腎移植学会記録集 腎移植症例集 2012 別刷 一般演題 p187~189 2012

石橋道男・三重野牧子・高橋公太・八木澤隆・寺岡 慧・高原史郎
生体腎および献腎移植の成績におよぼす透析期間の検討 日本移植学会雑誌 移植 Vol.47 No.2・3 p205~218 2012

高橋公太 特集：腎移植の新しい流れ 総論 腎移植の現状と今後の動向
透析フロンティア Vol.22 No.4 p2~9
November 2012

K.Sugiyama, K.Lsogai, A.Toyama, H.Satoh, K.Saito, Y.Nakagawa, M.Tasaki, K.Takahashi, And T.Hirano. Correlatio between the pharmacological efficacy of cyclosporine and tacrolimus as evaluated by the lymphocyteimmunosuppressant sensitivity test (LIST) and the MTT assay procedure in patients before and after renal transplantation : International Journal of Clinical Pharmacology and Therapeutics Vol.49 No.2 p145~152 2011

Takashi Kasahara , Tsutomu Nishiyama , Masaaki Kaneko , Kei Arai , Tsutomu Anraku , Kota Takahashi . Retroperitoneoscopic nephrectomy using a GelPort as the main access platform with a muscle-splitting approach : initial clinical experience. Japanese Journal of Endourology Vol.24 No.1 p83 ~ p87 2011 日本泌尿器内視鏡学会誌

Takaki Mizusawa, Noboru Hara, Kenji Obara, Etsuko Isahaya, Yuki Nakagawa, and Kota Takahashi. Clinical Feature of Men Who Benefit from Dose Escalation of Naftopidil for Lower Urinary Tract Symptoms: A Prospective Study . Advances in Urology Volume 2011 Article ID 804583,7pages 2011

高橋公太 ABO 血液型不適合腎移植 なぜ超急性拒絶反応は発生しないのか Organ Biology Vol.18 No.1 p11~p322011

八木澤 隆
湯沢賢治、高原史郎、八木澤隆、三重野牧子、田邊一成、腎移植臨床登録集計報告 (2013)2012 年実施症例の集計報移植 48(6) 346-361 2013

八木澤隆、三重野牧子、湯沢賢治、高原史郎、田邊一成、吉村了勇「腎移植臨床統計からみた腎移植の動向と成績」『日本臨床腎移植学会雑誌』 2013.12 1 巻 2 号

p159-165

山縣邦弘, 八木澤隆, 中井滋, 中山昌明, 今井圓裕, 服部元史, 五十嵐徹, 石村榮治, 井関邦敏, 伊丹儀友, 乳原善文, 笠井健司, 木全直樹, 剣持敬, 佐古まゆみ, 杉山齊, 鈴木洋通, 田邊一成, 椿原美治, 西慎一, 樋之津史郎, 平松信, 古菌勉, 望月隆弘, 湯沢賢治, 横山仁, 秋葉隆, 高原史郎, 吉村了勇, 本田雅敬, 松尾清一, 秋澤忠男, 「わが国の end stage kidney disease(ESKD)の現況」日本透析医学会腎不全総合対策委員会『移植』2013.9 48巻4-5 p225-235

Kimura T, Ishikawa N, Fujiwara T, Sakuma Y, Nukui A, Yashi M, Yagisawa T Kidney transplantation in patients with long-term(more than 15 years) prior dialysis therapy. Transplant Proc 44; 75-76, 2012

八木澤隆 移植統計、腎疾患治療マニュアル2012-2013, pp730-735、腎と透析 vol72. 増刊号、東京医学社、2012

石橋道男、三重野牧子、高橋公太、八木澤隆、寺岡慧、高原史郎：生体腎および献腎移植成績におよぼす透析期間の検討、移植47(2・3)：205-218, 2012

石川暢夫、木村貴明、佐久間康成、藤原岳人、貫井昭徳、安土正裕、八木澤隆 非血縁間腎移植症例の臨床的検討 腎移植症例集2012：149-151, 2012

日本臨床腎移植学会、日本移植学会、日本臨床腎移植学会登録委員会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子。腎移植臨床登録集計報告(2011)-1 2010年実施症例の集計報告。移植。2011；46(4・5)：313-317.

日本臨床腎移植学会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子腎移植臨床登録集計報告(2011)-2 2010年実施症例の集計報告(2)移植46巻6号 506-523 2011学会発表

八木澤隆：臨床腎移植統計 Over review、Kidney Transplantation Expert Meeting 2013年11月9日、東京

八木澤隆 臨床腎移植統計報告(特別発表)、第45回日本臨床腎移植学会、2013年3月13日、奈良

八木澤隆 臨床腎移植統計報告(特別発表)、第45回日本臨床腎移植学会、2012年2月3日、軽井沢

八木澤隆 わが国における先行的腎移植の現況と展望、第45回日本臨床腎移植学会、腎移植連絡協議会、2012年2月1日、軽井沢

八木澤隆：栃木県透析懇談会：特別講演「改正臓器移植法施行後の腎臓移植」、5月17日、宇都宮

八木澤隆 講演、慢性腎不全と腎移植統計、日本臨床腎移植学会教育セミナー、2012年7月8日、秋葉原、東京

八木澤隆：日本臨床腎移植学会教育セミナー「慢性腎不全と腎移植統計」、2011年7月10日、東京

八木澤隆：透析医療従事者研修講演、「腎移植」、2011年7月16日、大宮

八木澤隆：日本移植学会教育セミナー「各臓器移植の現状：腎臓」、第47回日本移植学会、2011年10月6日、仙台

三重野 牧子

Saito K, Takahara S, Nakagawa Y, Yagisawa T, Mieno MN, Takahashi K. Obstacles of Non-heart beating donor (NHBD) kidney transplantation in Japan. Transplantation Proceedings 2013; 45(8): 2866-70.

Mieno M, Yagisawa T, Yuzawa K, Takahara S. Graphical approach in the risk factor analysis for the death with functioning graft in kidney transplantation from Japanese registry data. Transplantation 2013; 96 Supplement 10S (Nov 27): S204.

湯沢賢治、高原史郎、八木澤隆、三重野牧子、田邊一成、腎移植臨床登録集計報告(2013)2012年実施症例の集計報告移植48(6)346-361 2013

八木澤隆、三重野牧子、湯沢賢治、高原史

郎、田邊一成、吉村了勇「腎移植臨床統計からみた腎移植の動向と成績」『日本臨床腎移植学会雑誌』 2013.12 1 巻 2 号 p159-165

腎移植臨床登録集計報告(2012) 2011 年実施症例の集計報告 日本移植学会・日本臨床腎移植学会 湯沢 賢治、高原 史郎、八木澤 隆、三重野 牧子、田邊 一成 移植 47 巻 6 号 400-415 2012

日本臨床腎移植学会、日本移植学会、日本臨床腎移植学会登録委員会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子。腎移植臨床登録集計報告(2011)-2010 年実施症例の集計報告。移植。2011;46(4・5):313-317.

日本臨床腎移植学会、高原史郎、湯沢賢治、八木澤隆、三重野牧子腎移植臨床登録集計報告(2011)・2 2010 年実施症例の集計報告(2) 移植 46 巻 6 号 506-523 2011

Mieno MN, Yamaguchi T, Ohashi Y. Alternative statistical methods for estimating efficacy of interferon beta-1b for multiple sclerosis clinical trials. BMC Medical Research Methodology 2011; 11: 80.

Waki K, Sugawara Y, Tamura S, Mieno MN, Yamashiki N, Kadowaki T, Kokudo N. Outcome of liver transplantation for recipients with hepatitis B and hepatitis C virus coinfection: Analysis of the UNOS data. Transplantation 2011; 92(7): 809-814.

学会発表

Mieno M, Yagisawa T, Yuzawa K, Takahara S. Graphical approach in the risk factor analysis for the death with functioning graft in kidney transplantation from Japanese registry data. 12th Congress of the International Society for Organ Donation and Procurement, Nov 21-24 2013, Sydney, Australia.

Mieno M, Yagisawa T, Yuzawa K, Takahara S. Multistate time-to-event modelling for kidney transplantation registry data. European congress of

epidemiology 2012, Sep 5-8, Porto, Portugal.

Yuzawa K, Umeshita K, Mieno M, Takahara S. Online registry and tracking system for kidney and liver transplantation in Japan. 24th international congress of the transplantation society. July 15-19, 2012, Berlin, Germany.

Saito K, Yagisawa T, Mieno M, Takahara S, Takahashi K. Obstacles of successful donation after cardiac death - NHBD Kidney Transplantation in Japan -. The 9th Korea Japan Transplantation Forum 2012. Oct 20, 2012, Incheon, Korea.

平野哲夫, 福澤信之, 原田浩, 三重野牧子, 藤生寛平, 中山恭伸, 小野美和子. 北海道における腎臓移植の現状-全国と比較して-. 第 82 回北海道透析療法学会, 札幌, 2012 年 11 月 4 日.

齋藤和英, 高橋公太, 八木澤隆, 三重野牧子. 先行的腎移植(PEKT)実施時期についての検討. 第 48 回日本移植学会総会, 名古屋, 2012 年 9 月 21 日.

服部元史, 三重野牧子, 相川厚, 大島伸一, 宍戸清一郎, 高橋公太, 長谷川昭, 吉村了勇. 日本小児腎移植臨床統計小委員会報告: 本邦における小児 ABO 血液型不適合腎移植の状況. 第 47 回日本移植学会総会, 仙台, 2011 年 10 月 5 日.

平野哲夫, 堀田記世彦, 原田浩, 三重野牧子, 藤生寛平, 中山恭伸, 小野美和子. 北海道における腎臓移植の現況報告. 第 80 回北海道透析療法学会, 札幌, 2011 年 11 月 27 日.

北田 秀久

Haruyama N, Tsuchimoto A, Masutani K, Nagata M, Kitada H, Tsuruya K, Kitazono T, Subclinical nephrosclerosis is linked to left ventricular hypertrophy independent of classical atherogenic factors. Hypertens Res(2013)

Kurihara K, Kitada H, Miura Y, Terasaka S, Kaku K, Miyamoto K, Tsuchimoto A, Masutani K, Tanaka M, Impact of flow cytometry crossmatch B-cell positivity on living renal transplantation. *Transplant Proc* 45(8):2903-6 2013

Doi A, Kitada H, Ota M, Kawanami S, Kurihara K, Miura Y, Inoue S, Tanaka M Effect of cell permeable peptide of c-Jun NH2-terminal kinase inhibitor on the attenuation of renal ischemia-reperfusion injury in pigs., *Transplant Proc.* 45(6):2469-75 2013

Okabe Y, Kitada H, Miura Y, Nishiki T, Kurihara K, Kawanami S, Terasaka S, Kaku K, Noguchi H, Sugitani A, Tanaka M
Pancreas transplantation: a single-institution experience in Japan. *Surg Today.* 43(12):1406-11 2013

北田秀久、田中雅夫、鶴屋和彦
腎移植 移植 Vol.47 No.2・3
166-174 2012

北田秀久、田中雅夫、岩瀬正典
膵移植 移植 Vol.47 No.2・3
175-182 2012

Nishiki T, Kitada H, Okabe Y, Kurihara K, Kawanami S, Tanaka M Effect of milrinone on ischemia-reperfusion injury in the rat kidney. *Transplant Proc.* 43(5):1489-1494 2011

学会発表

Kitada H Morning Lecture Concerns and anxiety of patients waiting for organ transplants
The 13th Congress of the Asian Society of Transplantation 2013/09/02 /06Kyoto

北田秀久 小児腎移植の現状と未来
第34回日本小児腎不全学会学術集会
2012/09/13 2012/09/14 淡路

渡井 至彦

oki T, Kasai M, Harada Y, Matsubara E, Morishita T, Suzuki T, Tsujita M, Goto N, Katayama A, Watarai Y, Uchida K, Ito M,

Saji H, Tsuzuki T, Uchida T, Ogura M. Stable renal engraftment in a patient following successful tandem autologous/reduced-intensity conditioning allogeneic transplantation for treatment of multiple myeloma with del(17p) that developed as a post-transplantation lymphoproliferative disease following renal transplantation. *Int J Hematol.* 2013 Jul;98(1):129-34.

Yamanaga S, Watarai Y, Yamamoto T, Tsujita M, Hiramitsu T, Nanmoku K, Goto N, Takeda A, Morozumi K, Katayama A, Saji H, Uchida K, Kobayashi T.

Frequent development of subclinical chronic antibody-mediated rejection within 1 year after renal transplantation with pre-transplant positive donor-specific antibodies and negative CDC crossmatches. *Hum Immunol.* 2013 Sep;74(9):1111-8

Ashimine S, Watarai Y, Yamamoto T, Hiramitsu T, Tsujita M, Nanmoku K, Goto N, Takeda A, Katayama A, Uchida K, Kobayashi T. Neither pre-transplant rituximab nor splenectomy affects de novo HLA antibody production after renal transplantation. *Kidney Int.* 2014 Feb;85(2):425-30

Tsujita M1, Goto N, Yamamoto T, Hiramitsu T, Nanmoku K, Inaguma D, Takeda A, Kobayashi T, Tominaga Y, Morozumi K, Uchida K, Watarai Y, How to estimate kidney function in kidney transplant recipients with mild to moderate kidney impairment: comparison of estimated glomerular filtration (eGFR) values between creatinine-based GFR equations and cystatin C-based GFR equations for Japanese population. *Clin Exp Nephrol.* 2014 Feb;18(1):130-4

Yamamoto T, Kawaguchi T, Watarai Y, Tujita M, Hiramitsu T, Nanmoku K, Goto N, Katayama A

Potent immunosuppression for ABO-incompatible renal transplantation may not be a risk factor for malignancy., Kobayashi T, Uchida K. *Transplant Proc* 2012 44 210-3

Nanmoku K, Matsuda Y, Yamamoto T, Tsujita M, Hiramitsu T, Goto N, Katayama A, Watarai Y, Kobayashi T, Uchida K. Clinical characteristics and outcomes of renal transplantation in elderly recipients. *Transplant Proc* 2012 44 281-3

Enzymatic assay method for measuring mizoribine levels in serum. Hiramitsu T, Ota H, Watarai Y, Achiha M, Fukami H, Sakasegawa SI, Hino E, Yamaguchi T, Ueda S, Kagimoto Y, Tamura T, Uchida K. *J Biosci Bioeng*. 2011 Apr 27.

Clinical significance of regulatory T-cell-related gene expression in peripheral blood after renal transplantation. Iwase H, Kobayashi T, Koderu Y, Miwa Y, Kuzuya T, Iwasaki K, Haneda M, Katayama A, Takeda A, Morozumi K, Watarai Y, Uchida K, Nakao A. *Transplantation*. 2011 Jan 27;91(2):191-8.

Significant association between chronic antibody-mediated rejection and donor-specific antibodies against HLA-DRB rather than DQB in renal transplantation. Kobayashi T, Maruya E, Niwa M, Saji H, Kohara S, Katayama A, Takeda A, Watarai Y, Uchida K. *Hum Immunol*. 2011 Jan;72(1):11-7.

渡井至彦 献腎移植で先行的腎移植を行うことの問題点 末期腎不全の治療と先行的腎移植—透析療法前の献腎移植希望登録のガイドライン作成を目指して— P67-70, 日本医学館 2011.

市丸 直嗣

Obi Y, Hamano T, Ichimaru N, Tomida K, Matsui I, Fujii N, Okumi M, Kaimori JY, Yazawa K, Kokado Y, Nonomura N, Rakugi H, Takahara S, Isaka Y, Tsubakihara Y.

Vitamin d deficiency predicts decline in kidney allograft function: a prospective cohort study. *J Clin Endocrinol Metab*. 2014 Feb;99(2):527-35

Obi Y1, Ichimaru N, Kato T, Kaimori JY, Okumi M, Yazawa K, Rakugi H,

Nonomura N, Isaka Y, Takahara S. A single daily dose enhances the adherence to immunosuppressive treatment in kidney transplant recipients: a cross-sectional study. *Clin Exp Nephrol*. 2013 Apr;17(2):310-5.

Kaimori JY, Iwai S, Hatanaka M, Teratani T, Obi Y, Tsuda H, Isaka Y, Yokawa T, Kuroda K, Ichimaru N, Okumi M, Yazawa K, Rakugi H, Nonomura N, Takahara S, Kobayashi E. Non-invasive magnetic resonance imaging in rats for prediction of the fate of grafted kidneys from cardiac death donors. *PLoS One*. 2013 May 7;8(5)

Tomida K, Hamano T, Ichimaru N, Fujii N, Matsui I, Nonomura N, Tsubakihara Y, Rakugi H, Takahara S, Isaka Y. Dialysis vintage and parathyroid hormone level, not fibroblast growth factor-23, determines chronic-phase phosphate wasting after renal transplantation. *Bone*. 2012 Oct;51(4):729-36.

Obi Y, Ichimaru N, Hamano T, Tomida K, Matsui I, Fujii N, Okumi M, Kaimori JY, Yazawa K, Kokado Y, Tsubakihara Y, Nonomura N, Rakugi H, Takahara S, Isaka Y. Orally active vitamin d for potential chemoprevention of posttransplant malignancy. *Cancer Prev Res*. 2012 Oct;5(10):1229-35.

Horio M, Yasuda Y, Kaimori J, Ichimaru N, Isaka Y, Takahara S, Nishi S, Uchida K, Takeda A, Hattori R, Kitada H, Tsuruya K, Imai E, Takahashi K, Watanabe T, Matsuo S. Performance of the Japanese GFR equation in potential kidney donors. *Clin Exp Nephrol*. 2012 Jun;16(3):415-20.

Kojima Y, Ichimaru N, Takahi Y, Morimoto A, Katayama S. [Primary carcinoid tumor of the kidney: a case report]. *Hinyokika Kyo*. 2011 Nov;57(11):619-22.

Xie L, Ichimaru N, Morita M, Chen J, Zhu P, Wang J, Urbanellis P, Shalev I, Nagao S, Sugioka A, Zhong L, Nonomura

N, Takahara S, Levy GA, Li XK. Identification of a novel biomarker gene set with sensitivity and specificity to distinguish between allograft rejection and tolerance. *Liver Transpl.* 2011 Dec 7.

Kawamura N, Takao T, Nagahara A, Mukai M, Fukuhara S, Yoshioka I, Ichimaru N, Takayama H, Miyagawa Y, Tsujimura A, Okuyama A. [A case report of retrocaval ureter associated with right ureteral tumors]. *Hinyokika Kyo.* 2011 Oct;57(10):565-7.

Xie L, Yamasaki T, Ichimaru N, Yui J, Kawamura K, Kumata K, Hatori A, Nonomura N, Zhang MR, Li XK, Takahara S. [(11)C]DAC-PET for Noninvasively Monitoring Neuroinflammation and Immunosuppressive Therapy Efficacy in Rat Experimental Autoimmune Encephalomyelitis Model. *J Neuroimmune Pharmacol.* 2012 Mar;7(1):231-42.

Okumi M, Kawada N, Ichimaru N, Kitamura H, Abe T, Imamura R, Kojima Y, Kokado Y, Isaka Y, Rakugi H, Nonomura N, Moriyama T, Takahara S. Safety and efficacy of administering the maximal dose of candesartan in renal transplant recipients. *Clin Exp Nephrol.* 2011 Dec;15(6):907-15.

Kakuta Y, Okumi M, Isaka Y, Tsutahara K, Abe T, Yazawa K, Ichimaru N, Matsumura K, Hyon SH, Takahara S, Nonomura N. Epigallocatechin-3-gallate protects kidneys from ischemia reperfusion injury by HO-1 upregulation and inhibition of macrophage infiltration. *Transpl Int.* 2011 May;24(5):514-22.

矢澤 浩治

矢澤浩治、高原史郎。V章。泌尿器科的腎疾患 3. 腎移植 A. 疫学と現状、B. 腎移植の適応 ベットサイド泌尿器科学 (改訂第4版) 2013; 260-263

矢澤浩治 第6章 臓器移植 2. 腎移植 系統小児外科学(改訂第3版) 2013;233-236

矢澤 浩治、橋本 光男、久山 芳文、西村 憲二、市川 靖二、北田 秀久、黒木 聖久、橋口 裕樹、高原 史郎 リンパ球クロスマッチにおける immunocomplex capture fluorescence analysis(ICFA)の有用性についての検討 移植 2013;48:236-243

Okumi M, Yazawa K, Rakugi H, Nonomura N, Isaka Y, Takahara S. A single daily dose enhances the adherence to immunosuppressive treatment in kidney transplant recipients a cross-sectional study. *Clin Exp Nephrol.* 2012 Oct 23.

Obi Y, Ichimaru N, Hamano T, Tomida K, Matsui I, Fujii N, Okumi M, Kaimori JY, Yazawa K, Kokado Y, Tsubakihara Y, Nonomura N, Rakugi H, Takahara S, Isaka Y. Orally active vitamin d for potential chemoprevention of posttransplant malignancy. *Cancer Prev Res (Phila).* 2012 Oct;5(10):1229-35.

Kakuta Y, Okumi M, Miyagawa S, Tsutahara K, Abe T, Yazawa K, Matsunami K, Otsuka H, Takahara S, Nonomura N. Blocking of CCR5 and CXCR3 Suppresses the Infiltration of Macrophages in Acute Renal Allograft Rejection. *Transplantation.* 2011 Nov 23

Kakuta Y, Okumi M, Isaka Y, Tsutahara K, Abe T, Yazawa K, Ichimaru N, Matsumura K, Hyon SH, Takahara S, Nonomura N. Epigallocatechin-3-gallate protects kidneys from ischemia reperfusion injury by HO-1 upregulation and inhibition of macrophage infiltration. *Transpl Int.* 2011; 24(5):514-22.

木内 哲也

Ishigami M, Onishi Y, Kamei H, Kiuchi T, Katano Y, Itoh A, Hirooka Y, Goto H. Impact of recipient age and preoperative fasting blood glucose level as the risk factors of living donor liver transplantation in cirrhotic patients in the recent comprehensive era with knowledge of indications: Recent status in a Japanese single center. *Hepatol Res*

[Epub 2013 Jan 14].

Takada Y, Kaido T, Asonuma K, Sakurai H, Kubo S, Kiuchi T, Inomata Y, Isaji S, Tsumura H, Teramukai S, Matsubara Y, Sakabayashi S, Uemoto S. Randomized multicenter trial comparing tacrolimus plus mycophenolate mofetil with tacrolimus plus steroids among HCV-positive recipients of living donor liver transplantation. *Liver Transpl* 2013;19:896-906. [Epub 2013 May 21].

Suzuki M, Torii Y, Kawada JI, Kimura H, Kamei H, Onishi Y, Kaneko K, Ando H, Kiuchi T, Ito Y. Immunogenicity of inactivated seasonal influenza vaccine in adult and pediatric liver transplant recipients over two seasons. *Microbiol Immunol* 2013; 57(10): 715-22 [Epub 2013 Aug 1].

Ishihara T, Ito M, Niimi Y, Tsujimoto M, Senda J, Kawai Y, Watanabe H, Ishigami M, Ito T, Kamei H, Onishi Y, Nakamura T, Goto H, Naganawa S, Kiuchi T, Sobue G. Clinical and radiological impact of liver transplantation for brain in cirrhosis patients without hepatic encephalopathy. *Clin Neurol Neurosurg* 2013; 115(11): 2341-7 [Epub 2013 Sep 10].

Ishigami M, Ishizu Y, Onishi Y, Kamei H, Horie T, Katano Y, Kiuchi T, Goto H. Long term dynamics of hematological data and spleen size in cirrhotic patients after living donor Liver Transplantation (LDLT): different dynamics in different etiology (poster presentation). ITLS 18th Annual International Congress, May 17, 2012, San Francisco, CA.

Takada Y, Kaido T, Asonuma K, Sakurai H, Kubo S, Kiuchi T, Inomata Y, Isaji S, Uemoto S. Randomized trial comparing tacrolimus and steroid with tacrolimus and mycophenolate mofetil among HCV-positive recipients of living donor liver transplantation (poster presentation). ITLS 18th Annual International Congress, May 17, 2012, San Francisco, CA.

Ogawa H, Fujimoto Y, Yamamoto K, Hata T, Nagai S, Kamei H, Arikawa T, Nakamura T, Kiuchi T. Donor screening algorithm for exclusion of thrombophilia during evaluation of living donor liver transplantation. *Clin Transplant*. 2011; 25(2): 288-82.

Torii Y, Kimura H, Ochi N, Kaneko K, Ando H, Kiuchi T, Ito Y. Immunogenicity of inactivated 2009 H1N1 influenza vaccine in pediatric liver transplant recipients. *Vaccine* 2011; 29(25): 4187-9.

Ito Y, Kawabe S, Kojima S, Nakamura F, Nishiyama Y, Kaneko K, Kiuchi T, Ando H, Kimura H. Identification of Epstein-Barr virus-infected CD27+ memory-B cells in liver or stem cell transplant patients. *J Gen Virol* 2011; 92(Pt 11): 2590-5.

Ishigami M, Kamei H, Nakamura N, Katano Y, Ando H, Kiuchi T, Goto H. Different effect of HBV vaccine after liver transplantation between chronic HBV carriers and non-HBV patients who received HBcAb-positive grafts. *J Gastroenterol*. 2011; 46(3): 367-77.

Ishigami M, Onishi Y, Ito T, Katano Y, Ito A, Hirooka Y, Kiuchi T, Goto H. Anti-hepatitis B surface immunoglobulin reduction in early postoperative period after liver transplantation in hepatitis V virus-positive patients. *Hepato Res* 2011; 41(12): 1189-98.

梅下 浩司

Kawada J, Nakahira S, Shimokawa T, Kobayashi S, Yamasaki M, Akamaru Y, Miyamoto A, Mizushima T, Shimizu J, Umeshita K, Ito T, Doki Y, Mori M, Clinical Study Group of Osaka University on Section of Risk Management. Subcuticular sutures versus staples for skin closure after open gastrointestinal surgery: a phase 3, multicentre, open-label, randomised controlled trial. *Lancet* 382: 1105-1112 2013

Kasahara M, Umeshita K, Inomata Y, Uemoto S; Japanese Liver

Transplantation Society. Long-term outcomes of pediatric living donor liver transplantation in Japan: an analysis of more than 2200 cases listed in the registry of the Japanese Liver Transplantation Society. *Am J Transplant* 13: 1830-92013

Morooka Y, Umeshita K, Taketomi A, Shirabe K, Maehara Y, Yamamoto M, Shimamura T, Oshita A, Kanno K, Ohdan H, Kawagishi N, Satomi S, Ogawa K, Hagiwara K, Nagano H. Reliability and validity of a new living liver donor quality of life scale. *Surg Today* 43:732-402013

Egawa H, Teramukai S, Haga H, Tanabe M, Mori A, Ikegami T, Kawagishi N, Ohdan H, Kasahara M, Umeshita K. Impact of rituximab desensitization on blood-type-incompatible adult living donor liver transplantation: a Japanese multicenter study. *Am J Transplant* 14: 102-142014

Genda T, Ichida T, Sakisaka S, Sata M, Tanaka E, Inui A, Egawa H, Umeshita K, Furukawa H, Kawasaki S, Inomata Y. Waiting list mortality of patients with primary biliary cirrhosis in the Japanese transplant allocation system. *J Gastroenterol* 49:324-312014

Egawa H, Nishimura K, Teramukai S, Yamamoto M, Umeshita K, Furukawa H, Uemoto S. Risk factors for alcohol relapse after liver transplantation for alcoholic cirrhosis in Japan. *Liver Transpl* 20: 298-3102014

S.Marubashi, H.Wada, S.Kobayashi, H.Eguchi, M.Tanemura, K.Umeshita, Y.Doki, M.Mori, H.Nagano. Once-daily prolonged-release tacrolimus in de novo liver transplantation: a single center cohort study. *Hepato-gastroenterol* 59: 1184-1188, 2012.

S.Marubashi, K.Umeshita, T.Asahara, K.Fujiwara, H.Haga, T.Hashimoto, K.Hatakeyama, T.Ichida, T.Kanematsu, M.Kitajima, K.Kiyosawa, M.Makuuchi, S.Miyagawa, S.Satomi, Y.Soejima,

Y.Takada, N.Tanaka, S.Teraoka, M.Monden. Steroid-free living donor liver transplantation for HCV - a multicenter prospective cohort study in Japan. *Clin Transplant* 26: 857-867, 2012.

K.Yuzawa, S.Takahara, T.Kenmochi, K.Takahashi, K.Umeshita, M.Monden, S.Teraoka. Evolution of registry and tracking system for organ transplantation in Japan. *Transplant Proc* 44: 828-831, 2012.

師岡友紀, 梅下浩司, 武富紹信, 前原喜彦, 山本真由美, 嶋村剛, 大下彰彦, 菅野啓子, 大段秀樹, 川岸直樹, 里見進, 小川馨, 萩原邦子, 永野浩昭. 生体肝ドナー quality of life 尺度の開発および信頼性と妥当性の検討. *移植* 47(1): 67-74, 2012

S.Kobayashi, H.Nagano, S.Marubashi, H.Wada, Y.Takeda, H.Eguchi, M.Tanemura, K.Umeshita, Y.Doki, M.Mori. Successful adult ABO incompatible living liver transplantation: experience with double infusion through the hepatic artery and portal vein. *Hepato-gastroenterol* 58: 503-507, 2011.

S.Marubashi, K.Dono, H.Nagano, S.Kobayashi, Y.Takeda, K.Umeshita, M.Monden, M.Mori. Efficacy of minimal dosage of calcineurin inhibitor for living donor liver transplant recipients with postoperative renal dysfunction. *Hepato-gastroenterol* 58: 508-511, 2011.

近藤 丘

近藤 丘 畠山勝義 北野 正剛 若林剛 肺移植 標準外科学 医学書院 2013年 225-227

野田雅史 岡田克典 近藤 丘 巽 浩一郎 桑野和善 高橋和久 永井厚志 LAM における脳死肺移植の現状 Annual Review 呼吸器中外医学社 2013年 236-241

星川 康 野田雅史 佐渡 哲 岡田克典 近藤 丘 福嶋教偉 剣持 敬 絵野沢 伸 脳死ドナーからの臓器摘出と保存: 肺移植のための臓器摘出と保存 丸善出版

2012年

岡田克典、近藤 丘：肺移植の課題と展望
呼吸と循環 60(5):503-508, 2012.

岡田克典、近藤 丘：肺移植における倫理的課題 移植 47(1):55-59, 2012

星川 康、野田雅史、佐渡 哲、岡田克典、近藤 丘：脳死ドナーからの臓器摘出と保存：肺「移植のための臓器摘出と保存」浅野武秀 監修 丸善出版 pp.103-110, 2012

Fujino N, Kubo H, Suzuki T, Ota C, Hegab AE, He M, Suzuki S, Suzuki S, Suzuki T, Yamada M, Kondo T, Kato H, Yamaya M: Isolation of alveolar epithelial type II progenitor cells from adult human lungs. Laboratory Investigation 91,363-378(2011).

Oishi H, Okada Y, Kikuchi T, Sado T, Noda M, Hoshikawa Y, Sakurada A, Endo C, Kondo T: The Intensity of Bronchiolar Epithelial Cell Injury Caused by an Alloimmune Response Is Ameliorated by Transbronchial Human Interleukin-10 Gene Transfer in a Rat Model of Lung Transplantation. Surgery Today 41:1458-1460(2011).

Maeda S, Okada Y, Sakurada A, Sado T, Ohishi H, Kondo T: Surgical treatment for locally advanced lung cancer in a human immunodeficiency virus-infected patient. General Thoracic and Cardiovascular Surgery 59(12):822-825, 2011.

後藤 満一

穴澤貴行, 後藤満一. 臍島移植症例登録報告(2011). 移植. 47(6):443-449, 2012

穴澤貴行, 後藤満一. 臍臓・臍島移植. 日本臨床. 70(Suppl 3):790-794, 2012

大久保豪, 宮田裕章, 橋本英樹, 後藤満一, 村上 新, 本村 昇, 岩中 督. 【よくわかるNCD】NCDの現状 診療科の登録状況と入力体制. 臨床外科 67(6):746-751, 2012

後藤満一, 宮田裕章, 杉原健一, 岩中 督,

里見 進. 【よくわかるNCD】NCDの将来展望. 臨床外科 67(6):752-755, 2012

後藤満一, 見城 明. がん関連データベース, その特徴と今後の展開 特集によせて. Surgery Frontier 19(4):9-12, 2012

後藤満一, 宮田裕章, 杉原健一, 森 正樹. NCD登録データから把握できる消化器がんの外科治療成績. Surgery Frontier 19(4):13-18, 2012

固武健二郎, 後藤満一. 臓器がん登録の今後の展開. Surgery Frontier 19(4):31-35, 2012

宮田裕章, 大久保豪, 友滝 愛, 後藤満一, 小野 稔, 橋本英樹, 岩中 督. NCDにおける今後の展望: 日本再生を支えるプラットフォーム. Surgery Frontier 19(4):45-51, 2012 752-4

Suzuki H, Gotoh M, Sugihara K, Kitagawa Y, Kimura W, Kondo S, Shimada M, Tomita N, Nakagoe T, Hashimoto H, Baba H, Miyata H, Motomura N. Nationwide survey and establishment of a clinical database for gastrointestinal surgery in Japan: Targeting integration of a cancer registration system and improving the outcome of cancer treatment. Cancer Science. 102 (1) :226-230, 2011.

Anazawa T, Sato Y, Saito T, Tsuchiya T, Kenjo A, Kimura T, Haga J, Miyake M, Waguri S, Hazama A, Gotoh M. Improved islet yield and function by use of a chloride channel blocker during collagenase digestion. Transplantation. 92(8):871-7, 2011.

Saito T, Ohashi K, Utoh R, Shimizu H, Ise K, Suzuki H, Yamato M, Okano T, Gotoh M. Reversal of Diabetes by the Creation of Neo-islet Tissues into a Subcutaneous Site Using Islet Cell Sheets. Transplantation 92(11) : 1231-1236, 2011.

福冨 教偉

Fukushima N, Ono M, Saiki Y, Kubota S, Tanoue T, Minami M, Konaka S,